

# 運動部活動が生徒に与える影響

## — 運動部活動のあり方 —

竹内孝幸 (生涯スポーツ学科 学校スポーツコース)  
指導教員 谷川 尚己

キーワード (運動部活動 保護者 問題点)

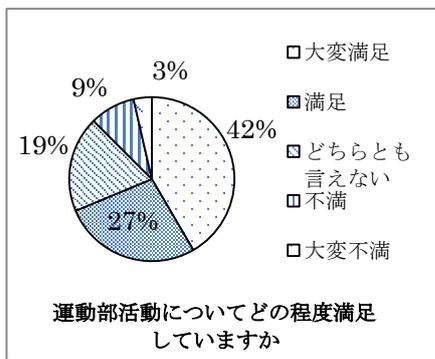
### I. 緒言

文科省で、部活動の目標・内容・意義づけ等の定めはなかったが、2008年に改正された中学校学習指導要領では、部活動の位置づけが初めて明記された。部活動が、重要視されていることの表れだと思われる。京都府教育委員会の学校運動部活動に関する報告では、「スポーツの現状と課題」の中で、保護者の運動頻度が高いほど子どもたちの運動実施率も高くなる傾向があると提言している。そこで本研究では、軟式野球部の保護者が求める運動部活動のあり方を検討することにした。

### II. 調査方法

京都市内の中学校5校で軟式野球部に所属する生徒の保護者94名を対象に、アンケート調査を行った。

### III. 結果と考察



中学校軟式野球部に所属する生徒の保護者に「運動部活動についてどの程度満足していますか」と質問したところ、図のとおり、合わせて69%の保護者が満足しているという結果が出た。また、13%の保護者が不満に思っていることもわかった。

次に、運動部活動に対して期待していることについて、「そう思う」「ややそう思う」「どちらでもない」「あまり思わない」「思わない」の5段階で、

期待)

回答してもらった。「体力を維持・向上させる」の質問に、94名全員の保護者が、「そう思う」「ややそう思う」と回答していた。また、「健康な体作りができる」「クラスや学年を越えた友人ができる」などの期待を多く持っていることも明らかになった。この結果と西島の「運動部活動の効用」を比較すると、生徒も同様の思いを持っていることが分かった。その結果、保護者も生徒と同じような期待を持っていることが明らかになった。

次に、学校運動部活動の問題点についてたずねたところ、50%の保護者が「事故やけが・健康状態が心配である」に「そう思う」「ややそう思う」と回答していた。保護者は、生徒の健康状態を心配していることから、学校が連携して、安全な部活動を作っていくことが大切だと考える。そのため、定期的に「クラブだより」などを作って生徒の活動状況などを伝えることが効果的と考える。

### IV. まとめ

本研究では、学校運動部活動について、軟式野球部の保護者にたずねたところ、以下の結果を得た。

1. 過半数が、運動部活動に満足していた。
2. 運動部活動に対して最も期待しているのは、体力を維持・向上させることであった。
3. 運動部活動の問題点は、「事故やけが・健康状態が心配である」であった。

### 参考文献

文部科学省：中学校学習指導要領. 東山書房, No. 19, 2008

京都府教育委員会 保健体育課 : 京都府におけるスポーツの現状と課題

西島 央 : 部活動 その現状とこれからのあり方. 学事出版, No.41 - No.43,